

別府溝部学園短期大学 学科・課程名

○ライフデザイン総合学科

- ・ファッションデザインコース
- ・グラフィックデザインコース
- ・医療事務コース
- ・国際経営ビジネスコース
- ・日本語教育コース

○食物栄養学科

- ・保育健康コース
- ・医事健康コース
- ・温泉コンシェルジュコース
- ・留学生コース

○幼児教育学科

- ・保育コース
- ・留学生コース

○介護福祉学科

学科・コース・エリアの教育目標（ポリシー）

みなさんは、本学への受験に際して、進学する学科に加えてその学科の中のどのコース、専攻を選択して履修するかを決めていた人も多いと思います。公表された入試要項にも掲げられているように、各学科にはそれぞれいくつかの履修コースや専攻があります。それらは、それぞれに独自の教育目標をもち、独自の専門的な学問系列にしたがって履修がなされるものですが、本学の場合、建学の精神にもとづいて、ほとんどが資格や免許の取得ができる教育課程を組んでいます。

本学では、新入学生の履修コース（専攻）の選択を入学直後の春季研修会（オリエンテーション）で十分な説明を加えたうえで確定することになっています。

細部についてはこのオリエンテーションのときに行なわれる各学科長の解説と指導を待つとして、ここでは概説を試みておきます。

ライフデザイン総合学科

ライフデザイン総合学科は、それぞれのコースに所属する学生が、自分の学びたいこと、また取得したい資格などによって科目を選び、自分の手で工夫して、自分なりの授業時間割を作っていきます。基礎教育科目は他学科と共通ですが、専門教育科目では、それぞれ

のコースごとに設定された科目の中から、また他のコースの中からも選んで、学びたい科目の授業を受けることができます。

学生一人ひとりの夢実現のため、将来の個々の職業に必要な知識・技能を習得し、人間的にも豊かな心や洗練されたマナーを身につけ、社会に有為な人材として育っていきます。

(A) ファッションデザインコース

ファッションデザインコースでは、1年次に服作りや色彩・コーディネート技術・メイクアップ技術・ネイルアート技術などの基礎を、2年次にはさらに高度な技術が要求される洋服のデザイン・造形・独創的なメイクアップ・ネイルアート・販売テクニックなど、実社会に出たときに即戦力として活躍できる力を身につけます。また、産業界が必要とするクリエイティブな能力を開発するためのアパレル産業論、豊かなイマジネーションを養うためのアートデザイン（染色・陶芸・アクセサリ作り）、ディスプレイ・プレゼンテーションなど、幅広いカリキュラムを組んで時代のセンスを持つプロフェッショナルを育てます。

(B) グラフィックデザインコース

マッキントッシュコンピュータを導入し、デザイン・広告・印刷業界で今必要とされている知識、技術を基礎から応用まで幅広く学び、自分のイメージを自由に表現できるデザイナー・クリエイターをめざします。

またグラフィックデザイン全般、工芸（染色・陶芸）、絵画についても学び、各自の感性と知識の両面から磨いていきます。

(C) 医療事務コース

病院、診療所、一般企業などの事務的分野で活躍できる人材育成を目標としています。特に、パソコン活用能力、事務処理能力の向上を目標とする授業を数多く開講しており、パソコン検定などに合格し、就職してからの即戦力を養います。

また、事務的技術の習得・習熟にとどまらず、あわせて、「人と人」とのコミュニケーション能力を身につけて、就職に有用な技術や知識を学びます。

(D) 国際経営ビジネスコース

『真の国際人』、どこの国でも通用する次世代のビジネスリーダーとしての基礎を構築することがコース目標です。パソコン活用能力、事務処理能力、コミュニケーション能力及びビジネス実務士、情報処理士の資格取得をめざしながら、経営や経済の知識を身につけ、応用・展開できる人材を育てます。

(E) 日本語教育コース

日本語能力試験N1、N2合格、日本留学試験 200 点以上取得を基本に、大学三年次編入、資格取得、日本での就職を目指します。日本語能力向上を中心に捉え、情報科学、コミュニケーション論などの基礎科目と、社会一般、ビジネス実務、日本の文化・社会とを専門教科フィールドで学びます。日本で留学生が必要とされる知識、教養を幅広く学び、身につけます。

ライフデザイン総合学科では、次の資格や免許を取ることができます。

(受験して取得できる資格)

- ファッションアドバイザー (学)
- ビューティインストラクター (学)
- DTPデザイナー (学)
- Webデザイナー (学)
- ビジネス実務士[®] (民)
- 医療秘書実務士 (民)
- 診療情報管理実務士 (民)
- 介護保険実務士 (民)
- 情報処理士[®] (民)
- 社会福祉主事任用資格 (国)
- 介種職員初任者研修 (県)

(めざす資格)

- ファッション販売能力検定
- ファッションビジネス能力検定
- ファッションコーディネート色彩能力検定
- Photoshopクリエイター能力認定試験
- Illustratorクリエイター能力認定試験
- 色彩検定
- 日本語ワープロ検定
- 情報処理技能検定
- 簿記検定
- プレゼンテーション作成検定
- ホームページ作成検定
- 日本語能力試験N1、N2
- ビジネス能力検定
- 医事実務検定試験
- 診療報 請求事務能力認定試験

e t c

食物栄養学科

本学食物栄養学科の教育目標は、「社会生活と健康」、「人体の構造と機能」、「食品と衛生」、「栄養と健康」、「栄養指導」、「給食の運営・管理」などに関する基礎的な知識を教授し、食を通して疾病を予防し、人々の健康を維持増進することに貢献できる専門家としての栄養士を養成することです。併せて、各2コースで設定された資格取得をめざし、本学の建学の精神である「自立・自活できる人材の育成」を達成することです。

人の幸せをQOL(生活の質)の観点からみると、「幸福」とは、身心の健康、良好な人間関係、やりがいのある仕事、快適な住環境、十分な教育、レクリエーション活動、レジャーなど様々です。その中でも、「幸福」は健康によって左右されるところが大きく占めます。健康は生活習慣などに影響され、特に日々の食習慣の影響は大きく、生命維持の基本でもあります。昨今の日本では、食に関する情報・食品・サプリメントなど多様な食環境が広がり、健康を害する誤った食生活を選択してしまう可能性が大きくなっています。また、そこから起因する生活習慣病も増加しています。その様な社会背景の中、本学科は、知識と豊かな人間性をあわせ持った「実践に強い栄養士の育成」をめざしています。

食物と人体そして我々を取り巻く環境との関係を理解し、正しい食習慣を実践すること、そして、伝えることができる知識と技術を学ぶことによって、人々のQOLに貢献できる専門家としての人材が育つことをめざしています。

また、「温泉コンシェルジュ」関係科目を受講することにより、温泉観光地における総合世話係としての活躍の場が期待できます。

保育健康コース

生活習慣病予防のため食育は重要です。栄養士と栄養教諭の免許を同時に取得し、「子ども達に楽しく食育のできる栄養士」をめざします。小学校・中学校はもとより、特に保育園・幼稚園児にスポットをあて、幼児期の心身の発達段階の特性等を理解し、子ども達に食の大切さを伝えるスキルを身につけます。そして、「保護者にも食育ができる栄養士」を養成します。

※取得免許・資格

- ・栄養士(国)
- ・栄養教諭二種(国)
- ・健康アドバイザー(学)
- ・保育栄養アドバイザー(学)
- ・介護職員初任者研修(県)
- ・社会福祉主事任用資格(国)

医事健康コース

病院や医院では、窓口業務や事務処理を担当する「医療秘書実務士」が活躍しています。そこで、栄養面での指導や現場での様々な業務をこなすために、栄養士と医療秘書実務士の同時取得をめざします。医療事務を学び、病気の知識とコミュニケーション能力を高め、窓口業務で栄養指導もおこなえる人材を養成します。

※取得免許・資格

- ・栄養士（国）
- ・医療秘書実務士（国）
- ・介護保険実務士（民）
- ・健康アドバイザー（学）
- ・介護職員初任者研修（県）
- ・社会福祉主事任用資格（国）

温泉コンシェルジュコース

温泉をペースとした「おもてなしのプロフェッショナル(総合世話係)」を養成します。温泉の基礎知識、効果・効能や医療・健康との関係や地域の観光まちづくりを体験的に学習します。将来の温泉コンシェルジュとしての活躍のため、実体験を含めた学習に取り組みます。また、「食と健康」を学び、長期療養の中で生活習慣病の改善をはかる提案や地域の食材の説明ができる知識を修得します。将来の栄養士免許取得も視野に入れていきます。この取り組みは、日本初として全国的に注目されています。

※取得免許・資格

- ・栄養士（国）但し、必要な単位を取得した場合のみ
- ・介護職員初任者研修（県）
- ・社会福祉主事任用資格（国）
- ・ビジネス実務士[®]（民）
- ・健康アドバイザー（学）
- ・温泉コンシェルジュ修了証（民）

幼児教育学科

(A) 幼稚園教諭免許と保育士資格

この学科の特色のひとつとして、幼稚園教諭免許と保育士資格を同時に取得できるということが挙げられます。幼稚園教諭については文部科学省が、保育士資格については厚生労働省が指定する教育課程にもとづいて、科目履修および単位の修得がなされます。

免許や資格の付与に必要な諸種の学外施設での実習の実施上の困難などもあって、多くの大学では、いずれか1つの養成課程を履修させるのが多いようです。したがって、本学のように2つの免許・資格を取得することは、履修のうえでかなりな負担となることを覚悟しなければなりません。しかし、すでに一部では幼児教育について、幼稚園と保育所での保育の内容が一元化されています。幼児教育をめざす学生の将来にとって、両資格をもつことはきわめて有利な条件となります。平成27年4月からは幼保連携認定こども園が発足し、両資格を持つ保育教諭という名称が使われます。また、保育士資格は前述の保育所（園）に加えて、養護施設・知的障害児施設・乳児院・肢体不自由児施設・重症心身障害児施設などの社会福祉施設への就業も可能な資格です。

この学科での専門教育科目は、原理・教育学系、心理系、福祉・医療系、保健・栄養系、保育内容系、教科系（音・図・体）などの諸系列の科目編成となっています。このうち教科系の音楽の各科目および実技については、入学前における学生の既習度のいかんによってはかなり困難な履修となるので、音楽教育施設（ML教室やレッスン室）を活用して自学自習に励んでください。

さらに、この学科では教育実習や保育実習が重要な科目となります。各種段階での実習が、関連科目の履修成果を実践する場となり、学生の保育者としての自覚や実践的能力の育成に極めて大きな意義をもつからです。本学では、実習の基礎段階をひめやま幼稚園と寒田ひめやま保育園、ひらた保育園で十分に体験したうえで、学外各施設での実習に移行するようになっています。

(B) レクリエーション・インストラクター資格

レクリエーション講座受講者には卒業時に公認指導者証が交付され、日本レクリエーション協会認定レクリエーション・インストラクターとして認定されます。1994年度から文部省（当時）の認定事業の一環としての所定の課程修了者にレクリエーション・インストラクターの名称が公認されるようになったものです。

レクリエーション・インストラクターは、公認指導者規定に定まる他の公認指導者資格の基礎となる資格です。今日、人々の余暇生活の充実が国民一人ひとりの大きな課題となってきました。そのためにみんなで楽しめる様々なレクリエーションの知識と技術を身につけた接助者（指導者）が求められています。

本学でのレクリエーション講座を2年間受講し、学外での研修（1泊2日の宿泊を含む）を終えることで資格取得となります。

(C) ピアヘルパー

現代社会の特徴の1つに科学技術の進歩と高度通信技術の驚異的な進歩があげられます。こうした技術の進歩により、国際化、情報化、競争化がもたらされ、現代社会は時間的切迫感を持ったストレス社会であるといわれています。そのため、ヒューマンサービスに携

わる職能人にはストレスに対処する力やコミュニケーションスキルが強く必要とされるようになっていきます。

このような力やスキルを証明するものの1つとして、日本教育カウンセラー協会の認定資格であるピアヘルパーがあります。本学で開講されるカウンセリングや関連する心理学の理論方法についての科目を履修し、筆記試験に合格すると、ピアヘルパーの資格を取得することができ、カウンセリング等について学習し、教育・福祉・保育などの実際場面で人と関わるために必要な基本的な力を身につけた者であることが証明されます。また、資格取得後、保育等の実践経験や協会主催の研修に参加することを経て初級教育カウンセラー資格を取得できるパスポートにもなります。

人間関係の希薄化が進む現代社会において、今後ますます必要な資格であるといえるでしょう。

(D) 上級救命講習修了証

子どもの尊い命を預かる保育者は、万が一に備え、子どもの命を守るために、適切な処置を行う正しい知識と技術を身につけることが求められています。

上級救命講習では、救急救命士の指導を受けながら、成人から小児・乳児を対象とした心肺蘇生法とAED（自動体外式除細動器）の使用法、外傷の手当などを学びます。講習修了後は、上級救命講習修了証（カード）が交付されます。

※取得免許・資格

- ・幼稚園教諭二種免許（国）
- ・保育士資格（国）
- ・レクリエーション・インストラクター資格（民）
- ・社会福祉主事任用資格（国）
- ・ピアヘルパー（民）
- ・上級救命講習修了証

介護福祉学科

わが国の高齢化は、世界に類を見ない速さで進行し、平成26年の高齢化率26.0%が平成27年には26.7%に達し、国民の約4人に1人以上が65歳以上の高齢者という超高齢社会が到来しています。また、大分県の平成27年10月1日現在の高齢化率は30.4%（総務省統計局推計人口）で、既に超高齢社会へ突入しており全国9番目の高齢県となっています。さらに別府市とはいえば、平成28年11月現在の高齢化率が32.8%で国・県を上回る高齢化が進んでいるのが現状です。

また、高齢夫婦世帯（夫婦のどちらかが65歳以上）、高齢者単身世帯（ひとり暮らしの

高齢者世帯) とともに、その数及び構成比は増加向にあります。

こういう時代背景の下に、介護の専門家によるニーズの高まりが介護福祉士制度を創設しました。そして、改正「社会福祉士及び介護福祉士法」(平成 19 年)では、介護福祉士の定義が「専門的知識及び技術をもって、身体上又は精神上の障害があることにより日常生活を営むのに支障がある者につき心身の状況に応じた介護を行い、・・・」となり、平成 23 年には「喀痰吸引その他その者が日常生活を営むのに必要な行為であって医師の指示の下に行われるものを含む」が加わり高齢者への個別ケアを求めるものとなっています。

本学では、生活支接とりわけ食事面での知識・技術の乏しい介護福祉士が多いという緊急課題から、食を中心とした栄養、調理などの高い知識・技術を持った介護福祉士の養成を行い、住居などの生活支接技術や知識も並行して学びます。

さらに、高齢者・障がい者とのコミュニケーション能力の向上を図るために、高齢者や障がい者の心理を学んだり、「コミュニケーション論」をとおして円滑な人間関係が生まれるような声・表情などを具体的に学びます。また、知覚障がい者や聴覚障がい者と対応するための技術なども修得します。

以上のように、高齢者・障がい者との円滑なコミュニケーションができ、「人間の尊厳」を支えるケアの実践ができる生活支接の技術をしっかり身につけた「介護福祉士」を養成するのがねらいです。そのため「元気よく生活支援ができ人の気持ちに寄り添える礼儀正しい介護福祉士」を学科のコンセプト(基本理念)として掲げています。

教職課程

本学での履修と単位修得によって取得できる教職免許は、食物栄養学科の「栄養教諭二種免許」、幼児教育学科の「幼稚園教諭二種免許」の2種類があります。

「栄養教諭二種免許」は「栄養士」の資格取得が前提となっています。そのため、社会生活と健康、人体の構造と機能、食品と衛生、栄養と健康、給食の運営等学科の専門教育科目を履修するとともに、教職に関する科目(教職概論、教育原理、生徒指導論、教育心理学等)を履修し、単位を修得することとなっています。

「幼稚園教諭二種免許」については、幼児教育学科の教育課程における専門教育科目の中に教職に関する科目が組み込まれていますので、学科の教育課程を履修し、単位を修得することで十分です。